

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名	子ども家庭局
-----------	--------

基本計画	柱	きずなを結ぶ
	大項目	すべての市民が人権を尊重され自分らしく暮らせるまちづくり
	取組みの方針	男女共同参画社会の形成

担当局 / 総務担当課名	子ども家庭局	子ども家庭政策課
連絡先	582 - 2550	

21年度計画

-3-(2)-

施策名	政策・方針決定過程への男女共同参画の推進
------------	----------------------

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	市における女性職員の積極的な登用、市の付属機関等の委員や地域活動における意思決定過程の場への女性の参画、企業における女性管理職などへの登用について、拡充します。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	男女共同参画社会の形成

	成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)		現状値			平成21年度		目標値		
	年度	平成17年度	計画	実績		年度	平成25年度	年度	平成25年度	
施策の成果	男女共同参画社会を目指す制度(男女共同参画社会基本法)の認知度	年度	平成17年度	計画	-	年度	平成25年度	目標値	100%	
	男女共同参画社会を目指す国の制度等の認知度向上を図ります。	現状値	42.70%	達成度	%					
	市の審議会等委員への女性の参画率	年度	平成20年度	計画	-	年度	平成25年度	目標値	40%	
	市の付属機関等の委員への女性の参画の拡充を図ります。	現状値	31.60%	達成度	34.1 %					
	北九州市男女共同参画社会形成条例の認知度	年度	平成17年度	計画	-	年度	平成25年度	目標値	50%	
	男女共同参画社会を目指す本市の制度の認知度向上を図ります。	現状値	23.40%	達成度	%					
	北九州市男女共同参画基本計画の認知度	年度	平成17年度	計画	-	年度	平成25年度	目標値	50%	
	男女共同参画社会を目指す本市の計画の認知度向上を図ります。	現状値	23.10%	達成度	-					
	コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]			事業費	302,851 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)		4,626 千円	
						うち一般財源	302,851 千円			

局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
	B	成果指標である「市の審議会等委員への女性の参画率」は上昇しているもののさらに取組みを強める必要はあるが、構成事業全体としては目標達成に向けて進捗しており、概ね良い状況にあると考えます。
今後の局施策の方向性	施策の実現に向けて、取組みを強化すべきであると考えます。	

[局施策評価] A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

評価担当部署の意見

適切な評価 下記のとおり

提示されている指標の中には調査等が必要なものもありますが、施策評価を行う上で重要なものと考えられることから、今後とも調査方法や時期などを検討していくことが望まれます。

施策名 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

構成事業名	事業費			事業にかかった 人件費の目安 (21年度)	経費分類 裁量的経費 義務的経費 特別経費(重点) 特別経費(臨時)	今後の方向性			
	C時点[21年度:執行額]					21年度			21年度
男女共同参画基本計画推進事業(市の付属機関等における女性の参画拡充の促進)				1,260 千円	裁量的経費			ウ	
事業費のうち一般財源									
拠点施設における固定的役割分担意識解消のための広報・啓発			299,573 千円	66 千円	義務的経費			ウ	
事業費のうち一般財源			299,573 千円						
地域における固定的役割分担意識解消のための広報・啓発			3,278 千円	3,300 千円	裁量的経費			ウ	
事業費のうち一般財源			3,278 千円						

局施策全体のコスト	21年度			
	事業費		人件費(目安)	
			302,851 千円	4,626 千円
施策全体の事業費のうち一般財源			302,851 千円	

局施策の 21年度評価
B

【局施策評価】
 A: 大変良い状況にある
 B: 概ね良い状況にある
 C: 概ね良い状況とまでは言えない
 D: 不十分な状況にある

【事業の今後の方向性】 ア: 事業の見直しを図ることが可能 イ: 休止・廃止を検討 ウ: 現状のまま進めることが適当 エ: 終了

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

担当局/課	子ども家庭局	男女共同参画推進部
連絡先	582 - 2405	

基本計画	柱	きずなを結ぶ
	大項目	すべての市民が人権を尊重され自分らしく暮らせるまちづくり
	取組みの方針	男女共同参画社会の形成
	主要施策	政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

関連計画	北九州市男女共同参画基本計画(第2次)
事業期間	H16 ~
経費区分	裁量的経費

-3-(2)-

事業名	男女共同参画基本計画推進事業(市の付属機関等における女性の参画拡充の促進)
-----	---------------------------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	男女共同参画社会の形成の推進のためには、政策・方針決定過程への女性の参画の拡大が重要なことから、市の意思決定の場である市の付属機関等(市政運営上の会合を含む)の委員への女性の参画の拡充を図ります。		
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	成果
				男女共同参画社会を目指す制度(男女共同参画社会基本法)の認知度
				市の審議会等委員への女性の参画率
				北九州市男女共同参画社会形成条例の認知度

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
		当初計画	・付属機関等委員改選に係る事前協議及び個別ヒアリングの実施 ・付属機関等女性委員参画率の調査、集計、結果公表	同左	同左	同左		同左	同左
	現状	・付属機関等委員改選に係る事前協議及び個別ヒアリングの実施 ・付属機関等女性委員参画率の調査、集計、結果公表	同左	同左	同左	同左			
実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)					平成21年度	目標		
	市の付属機関等委員への女性の参画率					計画	年度	平成25年度	
	市が率先して政策・方針決定過程への女性の参画を拡大するため、市の意思決定の場である市の付属機関等の委員への女性の参画の拡充を図ります。					実績	34.1 %	内容	40%
						達成度		年度	
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]					事業費	千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)	
						うち一般財源	千円	1,260 千円	
単年度計画	[図表: 単年度計画の推移]								

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	付属機関等の委員改選にあたっては所管課から事前協議を受けるとともに、女性委員参画率が40%に満たないものについては所管課に個別ヒアリングを実施した結果、平成21年度の女性委員参画率は34.1%と、全年度より2.5ポイント上昇しました。
------	-------------------------------------	---

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4:高い 3:やや高い 2:やや低い 1:低い	3	これまでの取り組みの結果、女性委員の参画率は概ね年々向上してきており、事業の効果はありますが、女性人材の確保が難しい専門分野等の課題があります。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。		4	人件費以外は経費はかかっておらず、これ以上のコスト削減の余地はありません。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。		4	男女共同参画社会の形成の推進のためには、政策・方針決定過程への女性の参画の拡大は重要な課題であり、目標年度(平成25年度)に向け、中期的な観点から着実かつ継続的に取り組む必要があると考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なものか、市の関与をなくすることはできないのか。		4	市の付属機関等に関する取り組みであり、事業の性質上、市が実施すべき事業であると考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	本事業は施策に対する有効性も高く、男女共同参画社会の形成を推進する上で重要な事業ですが、女性人材の確保等の課題もあり、社会全体において男女共同参画が進まない、本事業の前進も困難です。今後も付属機関等の担当各課の課題を把握し、女性委員の参画率の向上に向けての方策を担当課とともに考えながら、目標の達成に向けて着実な取り組みを進めていくことが適当だと考えます。	

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	子ども家庭局	男女共同参画推進部
連絡先	582-2405	

基本計画	柱	きずなを結ぶ
	大項目	すべての市民が人権を尊重され自分らしく暮らせるまちづくり
	取組みの方針	男女共同参画社会の形成
	主要施策	政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

関連計画	北九州市男女共同参画基本計画(第2次)
事業期間	H16～
経費区分	義務的経費

-3-(2)-

事業名	拠点施設における固定的役割分担意識解消のための広報・啓発
------------	-------------------------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	本市における男女共同参画社会形成の拠点施設である男女共同参画センター(ムーブ)及び勤労婦人センター(レディス)において、固定的役割分担意識解消のための広報・啓発事業を行い、男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画社会の実現を目指します。		
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	成果
				男女共同参画社会を目指す制度(男女共同参画社会基本法)の認知度
				市の審議会等委員への女性の参画率
				北九州市男女共同参画社会形成条例の認知度

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由	
		当初計画	男女共同参画講座・講演会等の開催 ムーブ:13件 レディス:35件	平成21年度と同程度	平成21年度と同程度	平成21年度と同程度		平成21年度と同程度
現状	男女共同参画講座・講演会等の開催 ムーブ:13件 レディス:35件	平成21年度と同程度	平成21年度と同程度	平成21年度と同程度	平成21年度と同程度	平成21年度と同程度		
実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標
	ムーブ及びレディスでの男女共同参画講座・講演会等開催件数					計画	48 件	年度
	固定的役割分担意識解消のための広報・啓発を進めるため、ムーブ及びレディスにおいて男女共同参画講座・講演会等を開催します。					実績	66 件	内容
						達成度	137.5 %	
コスト	ムーブ及びレディスでの男女共同参画講座・講演会等参加者数					計画	- 人	年度
	固定的役割分担意識解消のための広報・啓発を進めるため、ムーブ及びレディスにおいて男女共同参画講座・講演会等を開催します。					実績	43,473 人	内容
						達成度		
	A時点 - B時点 - C時点 22.7月[21年度・執行額]					事業費	299,573 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)
					うち一般財源	299,573 千円	66 千円	
単年度計画	(この欄は、単年度計画と異なる場合のみ記入してください。)							

[事業の実施結果・進捗状況の確認]	
実施結果	21年度は、ムーブ及びレディスにおいて指定管理制度を活用し、ムーブの開所記念行事「ムーブフェスタ」について、男女共同参画社会をわかりやすく理解してもらうための市民参加型ミュージカルを上演するなど、当初計画を上回る男女共同参画講座・講演会等を実施して(開催件数66件、参加者数43,473人)、固定的役割分担意識の解消のための広報・啓発を図ることができました。

[事業の再検証]			
評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があつたのか。	3	本市においては固定的役割分担意識が根強く、政策・方針決定過程への男女共同参画の推進を図る上で、固定的役割分担意識の解消を図るためには着実かつ継続的な広報・啓発の取組みが有効であり、施策の実現に寄与するものと考えます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	3	ムーブ及びレディスの運営については指定管理者制度を導入しており、効率的な事業実施を行っています。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	市民意識調査の結果等を見ても、政策・方針決定過程への男女共同参画の推進を図る上で、固定的役割分担意識の解消は重要な課題であり、適時性は高いと考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすることはできないのか。	4	政策・方針決定過程への男女共同参画の推進は、市が関与して積極的改善措置(ポジティブ・アクション)を訴えていかなければならない現状です。当事業は効率性の観点から指定管理制度を活用していますが、あくまで市の事業として実施するものです。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	本事業は施策に対する有効性も高く、政策・方針決定過程への男女共同参画の推進を図っていく上で重要な事業であると考えており、啓発手法の工夫や対象者の拡大など計画に定めた内容の実現に努めながら、今後も着実な取り組みを進めていくことが適当だと考えます。

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	子ども家庭局	男女共同参画推進部
連絡先	582-2405	

基本計画	柱	きずなを結ぶ
	大項目	すべての市民が人権を尊重され自分らしく暮らせるまちづくり
	取組みの方針	男女共同参画社会の形成
	主要施策	政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

関連計画	北九州市男女共同参画基本計画(第2次)
事業期間	H16~
経費区分	裁量的経費

-3-(2)-

事業名	地域における固定的役割分担意識解消のための広報・啓発
------------	-----------------------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか、	地域で活動しているNPO等と協働で、固定的役割分担意識解消のための広報・啓発事業を市民センターなど市内一円でを行い、男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画社会の実現を目指します。			
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	成果	男女共同参画社会を目指す制度(男女共同参画社会基本法)の認知度 市の審議会等委員への女性の参画率 北九州市男女共同参画社会形成条例の認知度

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由	
		当初計画	・「男女共同参画フォーラムin北九州」の開催 ・男女共同参画に関する広報啓発事業の実施	・「男女共同参画フォーラムin北九州」の開催 ・男女共同参画に関する広報啓発事業の実施	・「男女共同参画フォーラムin北九州」の開催 ・男女共同参画に関する広報啓発事業の実施	・「男女共同参画フォーラムin北九州」の開催 ・男女共同参画に関する広報啓発事業の実施		・「男女共同参画フォーラムin北九州」の開催 ・男女共同参画に関する広報啓発事業の実施
現状	・「男女共同参画フォーラムin北九州」の開催 ・男女共同参画に関する広報啓発事業の実施	・「男女共同参画フォーラムin北九州」の開催 ・男女共同参画に関する広報啓発事業の実施	・「男女共同参画フォーラムin北九州」の開催 ・男女共同参画に関する広報啓発事業の実施	・「男女共同参画フォーラムin北九州」の開催 ・男女共同参画に関する広報啓発事業の実施	・「男女共同参画フォーラムin北九州」の開催 ・男女共同参画に関する広報啓発事業の実施	・「男女共同参画フォーラムin北九州」の開催 ・男女共同参画に関する広報啓発事業の実施		
実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標
	「男女共同参画フォーラムin北九州」及び男女共同参画に関する広報啓発事業(公募性)の実施回数				計画	-	年度	
	北九州市女性団体連絡会議やNPO等と協働で当事業を実施し、地域における男女共同参画に関する理解を深めます。				実績	67 回	内容	
	「男女共同参画フォーラムin北九州」及び男女共同参画に関する広報啓発事業(公募性)の参加者数				計画	-	年度	
北九州市女性団体連絡会議やNPO等と協働で当事業を実施し、地域における男女共同参画に関する理解を深めます。				実績	4,678 人	内容		
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月(21年度・執行額)				事業費	3,278 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度) 3,300 千円	
					うち一般財源	3,278 千円		
単年度計画	(この欄は、単年度計画の進捗状況を確認するための欄です。)							

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	北九州市女性団体連絡会議やNPO等と協働で、「男女共同参画フォーラムin北九州」や男女共同参画に関する広報啓発事業を市内一円で実施するなどして、概ね計画どおり広報・啓発活動を行いました。
------	-------------------------------------	---

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があつたのか。	3	男女の固定的役割分担意識解消のためには、広報・啓発等による正しい理解の促進が有効な手段だと考えます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	3	北九州市女性団体連絡会議やNPO等と連携を図りながら広報・啓発活動を実施しており、経済性・効率性は高いと考えます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	地域に根強い男女の固定的役割分担意識解消のためには、継続的な広報・啓発活動が必要であり、適時性は高いと考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なものか、市の関与をなくすることはできないのか。	4	本施策は社会全体の問題であるが、行政等による積極的改善措置(ポジティブ・アクション)が必要な現状で、今後も市を中心としてNPO等関係機関との連携を図りながら、取り組む必要があります。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	本事業は施策に対する有効性も高く、男女共同参画社会の形成を推進する上で重要な事業であり、今後も地域に密着した活動を行っているNPO等と協働して、目標の達成に向けて着実な取り組みを進めていくことが適当であると考えます。